

# OLIVE



令和元年夏号

## 第6回つかがわ活動報告会

6月15日の開院記念に合わせ、毎年開催している活動報告会。博光会全職員が一堂に会し、各部署の活動や成果の総括を発表する場です。今年は第6回目となり、6月14日約170名の職員がソフィアホールに集まりました。今回の演題7題をご紹介します。



①外来『職員の健康診断』

私たちにとって身近な職員の健康診断をテーマに結果を分析。医療従事者としてまずは自分たちから健康に気を配り病気を予防することを呼びかけました。

②通所リハ『生活期リハビリへの移行～してもらいうりハビリから自ら動くりハビリ～』

生活期リハビリを導入し、ハード面ソフト面共に業務改革を行いました。利用者さんの身体機能と満足度が向上。凝ったスライドで笑いが起こる場面もありました。

③透析室『透析患者におけるADL指標としてのPhase Angle（位相角）の有用性』

患者91名を対象に体成分分析装置InBodyS10を用いて位相角（細胞の健康状態・機能を意味する栄養状態の評価指標）を測定。位相角が栄養状態、ADL評価の指標として有用であることを示唆し、簡便かつ可視的に評価できる可能性を報告しました。

④透析室『当院における在宅透析の取り組みと管理体制について』

2018年より導入した在宅透析について導入までの経過や管理体制について説明。スプレッドシート（オンラインで使える表計算ソフト）や固定webカメラを用いて在宅透析中もリアルタイムで情報の共有を行っています。チームが連携することで、患者さんが安心して在宅透析を行っていることが伺えました。非常にわかりやすい説明で在宅透析について理解が深まり、アンケート賞を受賞しました。



アンケート賞を頂き大変うれしく思います。これも透析スタッフ皆の協力のおかげだと思います。これからも在宅透析の管理体制の維持に努め定期点検を確実に行うことで安心安全な在宅透析の支援をしてまいります。（丸）



介護施設の中で小規模多機能の認知度は低い現実があります。いかに小規模多機能の形態や日頃の業務内容を知っていただけるかを考えながら、資料を作成していました。利用者様が在宅での生活を継続できるように今後も自立支援を意識した介護を行なっていきたいと思います。院長賞をいただき、小規模の職員全体のモチベーションも大きく上がっています。ありがとうございました。（高野、山口）



⑤小規模多機能

『生きる意欲を引き出す自立支援介護』

2名の利用者さんの事例をもとに、自立支援介護の取り組みを発表。全介助状態だった方が自立歩行、外出ができるまで回復するなど目覚ましい成果が表されました。利用者さんに寄り添い、工夫した自立支援介護は多くのスタッフに感動と希望を与え、院長賞を受賞しました。

⑥院長『受動喫煙』

喫煙だけでなく受動喫煙も様々な疾患の原因となります。受動喫煙の危険性について動画を交えて説明し、禁煙を呼びかけました。



⑦療養・一般病棟合同

『認知症高齢者への対応

～「認知症ケア加算」を通して～』両病棟での認知症患者さんとの関わり方を事例を挙げて発表。患者さんやご家族の思いを尊重しながら細やかなケアと環境づくりを行うことでQOLの向上が見られました。患者さんに寄り添った素晴らしい看護と成果で副院長賞を受賞しました。



副院長賞をいただきありがとうございました。入院加療の環境の変化や治療による制限は患者様にとってストレスとなり、更なる症状の悪化を引き起こしかねません。これからも看護師・介護スタッフ達の踏ん張りの先に患者様の笑顔があることを念頭に置いて頑張って援助していきます。（武信、小出）



部署や職種が違えど、博光会職員としての患者さん利用者さんへの思いは同じであることを改めて実感した会となりました。他職種の取り組みを理解することで連携しやすくなり、より質の高い医療・介護の提供ができるのではないかでしょうか。私たちにとってこの活動報告会は互いに切磋琢磨しあえる素晴らしい機会です。来年のこの日を楽しみに、またこれからの中も頑張っていきましょう。

（五十川）

◆運営理念◆

私たちは「信頼」「安心」「満足」をモットーに、患者様への心の通った「ぬくもり」のある病院をめざします。

## つかがわTOPICS

# 第2回メンタルヘルス研修会



近年職場での様々なハラスメントが問題となっています。当院では、職員が働きやすい環境づくりを行うことを目的に昨年からメンタルヘルス研修を行っています。今年は5月14日、大分メンタルヘルス・ネット代表中村廣光先生を講師に迎え、「ハラスメントのない明るい職場づくり」をテーマに研修会を行いました。病院におけるハラスメントについての講義を受け、グループワークを行いました。

ハラスメントの具体例や労働環境改善策など、積極的に意見交換が行われました。



現場の多忙さ、より高い専門性の要請、厳しい責任の追及など医療機関はハラスメントが起こりやすい環境にあります。意見を



言いやすい雰囲気づくりを職員一人ひとりが意識して、気持ちよく働く病院づくりを行っていきたいと思います。

## 糖尿病教室「外食指導」

年6回の糖尿病教室。今回は、毎年楽しみにされている患者さんも多い外食指導です。5月31日、院内でメニュー表を参考に選び方や塩分を抑えるポイント、炭水化物の量などを確認し、ジョイフルへ。「塩分を抑えるために味噌汁は飲まないようにしよう」「ご飯は小盛にしよう」などみなさんそれぞれメニューを真剣に選び、血糖コントロールを意識する姿が見られました。



みんなで楽しく食事をする中で、糖尿病患者さん同士の交流を深めることもこの外食指導のねらいの一つです。院長の参加もあって会話も弾み、和気あいあいとした雰囲気で楽しい食事会となりました。

一人暮らしや高齢世帯の糖尿病患者さんが増え、外食やお弁当で食事を済ませることが多くなっている今、



食事の選び方には注意が必要です。今後も糖尿病の食事療法について楽しく学べるよう企画していきたいと思います。

(古澤)

## 防災訓練&災害用自販機

6月19日、“4階一般病棟の脱衣所で火災が発生”という設定で防災訓練を行いました。スタッフが初期消火を行い消防署へ通報し、患者さんを避難誘導するという内容でした。そして消防設備業者の方の指導の下、消火器を使った消火訓練も行いました。一人ひと



当院からは、臨床工学技士高野愛さんが「透析患者におけるA D L 指標としてのPhase Angle（位相角）の有用性」について発表しました。



透析患者さんと栄養・運動についての関連性は、様々な分野でも注目され、研究も行われています。当院の発表が始まると、多くの人がメモを取り始めるという光景を目の当たりにしました。発表後は質問や活発な意見交換もあり、とても充実した内容でした。他にも災害対策の実際やシャント管理に関する研究など興味深いもののが多かったです。



今後も透析医療に携わる全てのスタッフがチーム一丸となって、患者さんのQOL向上や生命予後改善を目指し、質の良い透析を提供できるよう努めていこうと思います。

(野尻)

りが当事者意識を持ち、非常時に役立つ対応力を身につけていきたいと思います。

また、当院では災害対応型自動販売機を2台設置しました。この自動販売機は、地震等の災害発生時に電光掲示板に災害情報を流したり、本体に残っている飲料を無償で提供することができます。



今後も、災害発生時の備えとして設備面、ソフト面、両方の整備を継続して行っていきます。

(岩佐)

## 介護ホームつかがわTOPICS

## 介護部新人研修

6月4日、介護部の新人研修を行いました。

平成30年5月以降に入社した職員ら総勢28名が参加。事務長や介護部長が講師となり、

博光会の歴史や理念、介護職員として働くために必要な「チームコミュニケーション」「社会人としてのマナー」「利用者様の観察ポイント」等について学びました。

研修に参加した新人さんからは「基本を大切にしようと思った」「小さな目標をたてて達成していくことで成長していきたい」「介護職として働く上で基本と



なる行動や考え方を学ぶことが出来た」等の前向きな感想が聞かれました。

一方、一緒に参加した新人教育係の職員にとっては自分を振り返る良い機会となったようです。「法人の理念に沿い、介護部がこれまで受け継いできた想いを新人に伝えていきたい」と気持ちを新たにしました。

博光会の一員として常に向上する職員でありたいと感じられる研修となりました。



## 看取り研修会



玖珠郡在宅医療・介護連携促進会議で行われる看取り研修会に介護部 小倉礼子部長が講師として招かれ、2月22日と6月7日の全2回講演を行いました。玖珠郡、臼田市

の医療介護に従事する医師や看護師、介護職員、栄養士等様々な職種の方約60名が参加。看取りに対する想い、実際に看取りを行う方法等について講義を行い、意見交換を行いました。



参加者からは「看取りについての意識が変わった」「避けてしまいがちな死に對して丁寧に対応していきたい」「多職種の方の想いを聞けて良かった」等の意見をいただきました。

つかがわ介護部では「看取り」に力を入れてきました。人生の最期をいかにその人らしく過ごしていただくか。家族、職員等その人に関わる全ての人が想いをひとつにして取り組み、今後も心の通つた「ぬくもり」のある介護を目指していきます。

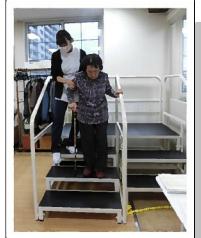


## 階段昇降運動器

通所リハビリテーションでは家の生活が少しでも過ごしやすくなるよう生活期リハビリに力を入れています。家の中には階段や段差がたくさんあり、高齢になるとそこで転んでしまい骨折で入院、筋力低下に繋がってしまう方も多いいらっ



しゃいます。そこで、新しく階段昇降の器具を設置し、利用者さん一人ひとりの状態を見ながらその人に合った階段の上り下りの訓練を行い始めました。



転倒を予防し、いつまでも家で楽しく安心して過ごせるよう支援します。

介護ホームつかがわTOPICS(清成)

FATHER'S DAY

MOTHER'S DAY

介護部では今年も  
父の日&母の日  
をお祝いしました。

手作りのカーネーション  
や  
お菓子をプレゼント♪  
これからもお元気でいてくださいね。



# 塚川第一病院 外来診療一覧



受付時間：平日 8:30~12:00 14:00~17:00 土曜日 8:30~12:00  
休診日：土曜日午後・日曜日・祝祭日・6月15日（開院記念日）



科名	受付時間	月	火	水	木	金	土
循環器内科 糖尿病内科	8:30~12:00	院長	橋永	院長 橋永	院長 橋永	—	—
腎臓内科	8:30~12:00	平岡	平岡	—	—	平岡	—
消化器内科	8:30~12:00	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)	和氣 溝口(内視鏡)	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)	和氣(内視鏡)
	14:00~17:00	和氣	和氣	溝口	和氣	和氣	
呼吸器内科	—	—	14:00~17:00 安東 (第2火曜休診)	—	—	—	8:30~12:00 渡邊／菅
精神科 心療内科	14:00~17:00	副院長(再診)	—	—	副院長(再診)	—	
整形外科	14:00~17:00	—	—	—	山口	—	

※はじめて精神科・心療内科・整形外科を受診される方は電話にてお問い合わせください。

※黒岩医師は第2・4水曜(9:00~12:00)外来診療しております。

## 医療法人博光会 事業所紹介

### ●塚川第一病院●

所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-532-0234 FAX 097-532-0233

ホームページ <http://www.hakkokai.com/>

病床数：60床（一般病棟25床 療養病棟35床）

人工透析室 44床

診療科：一般内科、循環器内科、

腎臓内科、糖尿病内科、消化器

内科、呼吸器内科、人工透析内

科、精神科・心療内科、整形外

科、リハビリテーション科



### ●訪問看護ステーションつかがわ●

所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-535-2283 FAX 097-535-2280

### ●介護保険サービスセンターつかがわ●

所在地 大分市東春日町8番21号

サザンブライト東春日B棟1階

TEL 097-548-5010 FAX 097-574-8720



### ●介護ホームつかがわ●

#### ●通所リハビリテーションつかがわ (病院5F)

所在地 大分市東春日町5番25号

TEL 097-536-1183 FAX 097-536-1185

#### ●小規模多機能ホームつかがわ (1F)

TEL 097-540-6717 FAX 097-540-6718

#### ●グループホームつかがわ萌 (2F)

TEL 097-548-6816 FAX 097-548-5126

#### ●グループホームつかがわ藍 (3F)

TEL 097-548-5122 FAX 097-548-5126

#### ●デイサービスつかがわ笑 (4F)

TEL 097-540-6020 FAX 097-540-6028

#### ●デイサービスつかがわ遊 (5F)

TEL 097-548-5050 FAX 097-548-5016



#### ●有料老人ホームつかがわ牧

所在地 大分市牧3丁目2-23

TEL 097-556-3350

FAX 097-556-3356



### ●ヘルパーステーションつかがわ●

所在地 大分市東春日町6番28号

TEL 097-574-5236 FAX 097-574-5237

◆編集後記◆梅雨明けはまだですが、夏の香りがする今日この頃。先日、セミの抜け殻を見つけました。学校も夏休みに入ると予供たちは嬉しいばかりですが、お父さんお母さんにとっては大変なシーズンかもしれませんね(笑) 年々、気温が上昇しています。熱中症に気を付けて、暑い夏を乗り越えましょう。

(文責 五十川)